市報にいがた
発行所　新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 代表(28)1000
編集人　高橋甲子
(担当市民企画部広報課)
印刷所　㈱第一印刷所

市の人口

		前月比
人口	425,617	(＋ 797)
男	208,250	(＋ 444)
女	217,367	(＋ 353)
世帯数	132,733	(＋ 193)

51年8月末日現在

一般会計補正予算など提案
10億428万6,000円
より良い環境づくりに

九月定例市議会が、二十四日から開会されました。

来月八日までの十五日間、市から提案された、一般会計補正予算、条例の制定、契約の締結―など、三十六議案について審議されます。

これらの議案のうち、道路舗装、住宅建設、モーテル規制条例、など市民生活に関係深いものをいくつか紹介します。

補正予算の主な内訳は、一般会計の国県補助事業では、新石山団地公営住宅建設事業（G・H棟八十戸）の二億四千八百万円、高所放水車購入費の四千万円など増額補正が約三億六千六百万円、単独事業では、道路改良事業に三千三百万円、道路舗装事業に三千八百万円、道路排水側溝事業に三六百万円、計一億円の増額補正です。

道路関係については、かねて地域別市政懇談会などで市民の要望が強く、財源の見通しがついたため、これに答えたものです。

そのほか、都市排水恣意対策事業に三千万円、有明福祉タウン建設事業費補助金の約二千五百万円など約百万円、単独事業では、道路改修工事に四千五百万円、米山・堀ノ内排水路改修工事に二千百万円、そのほか、四排水路の改修などのために債務負担行為を含め、一般会計及び下水道事業会計とで三億円を計上しました。

以上のような内訳で一般会計では十億四百二十八万六千円の増額補正となっており、特別会計では、下水道事業会計が五千七百三千万円、中央卸売市場会計が五百十三万三千円、土地取得事業会計が二億百四十一万五千円、それぞれ増額補正となっています。

去る八月十五日から十六日にかけて降り続いた集中豪雨で排水路があふれ、浸水被害が出ましたが、市では二度と被害を出さないよう、さっそく改修工事を行います。

このため、神導寺排水路改修工事に四千五百万円、米山・堀ノ内排水路改修工事に二千百万円、そのほか、四排水路の改修などのために債務負担行為を含め、一般会計及び下水道事業会計とで三億円を計上しました。

以上のような内訳で一般会計では十億四百二十八万六千円の増額補正となっており、特別会計では、下水道事業会計が五千七百三千万円、中央卸売市場会計が五百十三万三千円、土地取得事業会計が二億百四十一万五千円、それぞれ増額補正となっています。

集中豪雨対策に三億円

地区事務所・連絡所でも手続きが
乳児・妊産婦医療費助成
ナンバープレート交付

市民サービス向上のため乳児・妊産婦医療費助成や原付バイクのナンバープレート交付手続きの窓口を、十月一日から増設します。

〈乳児・妊産婦医療費〉
▼乳児医療費受給資格認定
本庁市民課、地区事務所を窓口とし、連絡所でも取り次ぎます（妊産婦は従来どおり保健所で）
▼変更（喪失、届、保健所市民課、地区事務所へ提出してください。連絡所でも取り次ぎます。
▼医療費請求書、保健所、地区事務所、連絡所のほか市民課も新設、母子手帳と次ぎます。

〈原付バイク〉
地区事務所は取り次ぎだけだったものを、交付手続きも行います。従って今まで翌日交付したナンバープレートが、市民税課と同様に、その場で交付されます。

印鑑を忘れずに。

流通センター本格的調査に

坂井輪地区に流通センター建設のための本格的な調査が始まります。

来年三月までに基本方針を決定すべく地形測量、土質調査などの調査費二千六百九十五万円が計上されました。

この流通センター建設に伴って、物価の安定、地域開発の促進、雇用の促進、交通網の整備、交通混雑の緩和などたくさんのメリットが期待されます。

■契約議案■
契約の締結は次のとおりです。
▼中地区事務所及び公民館建設工事▼上山小、五十嵐中屋体新設工事▼音楽文化会館建設工事▼坂井輪排水区幹線下水道築造工事▼中部下水処理場雨水放流渠築造工事。

モーテル規制条例県内で初めて

一般議案のモーテル建築規制条例は、市の善良な風俗および健全な生活環境を保持するために制定するものです。

この内容は、モーテルの建築主が開発行為の許可申請や建築確認の申請の前に、市長に届けなければならず、この届け出があった場合、市長はモーテル建築審査会（設置予定）の意見を聞かなければなりません。

そして建築によって当該地域の風俗、生活環境が害されるおそれがあると認めた場合は、建築主に対し、その計画の中止や変更を勧告します。

そして建築主はこれを尊重しなければならない―というものです。

これが可決されますと、県内では初めての規制条例となり、モーテルの締め出しや、きびしいチェックも行われます。

市環境の整備や改善の費用にあてるため、市の目的税として昨年創設され、すでに二十三の指定都市において実施されています。さらに本年の地方税法の改正で、新らたに新潟市を含む人口三十万以上の三十二都市が課税団体として指定されました。そのため、この九月定例議会に関連条例が提案されたものです。実施は十月一日からとなり、年間約九億七千万円が見込まれ、交付税との関係で実質増収額は約二億五千万円ほどになります。

事業所税創設

最近大都市地域は、企業や人口が集中し、道路、公園、上・下水道、学校などの都市施設が追いつかない状態です。

事業所税は、これらの都市に通れない道路を舗装してどうする」というのは部外者の弄。「子どもや年寄りが石ころにつっかかって転び、ケガをしたことがあるが、舗装すればその心配がなくなる」「雨の日でも下駄や短靴で歩けるので、街に出る時に、ゴム長で体裁の悪い思いをしなくてすむ」といった声が返って来ます。

今は、車のために舗装するという時代ではなくなりつつあります。

市道舗装と切り離せないのが寄付金制度、新潟市は標準舗装費の十五％を地元からいただいています。

舗装にあたって寄付金集めなどに苦労する町内会長が、さんたちは「寄付金には反対で、早く廃止すべきです。市道の舗装は税金で賄うべきだからです。しかし、現実の話になりますと、市にとはわかるが、金を出すのは生活に響く―という声がありました。それを説得して、やったのですが、今はやって良かったと言っています。

舗装費として少しずつ集めています」（江口・五十嵐又一さん）「舗装して便利になるのに比べれば、十五％の負担なら安いですよ。うちの町内では不満は聞けません。少しくらい金を出しても早く舗装を―ということですね」（石山・羽賀繁次さん）「道路の拡幅、舗装をしたときに、良いことは、なお当分の間、必要だというのが大方の意見です。側溝の寄付金十％については同様の意見が聞かれます。

地元で寄付金を集め、市に交渉し、市がその中から計画にそって整備する形がほとんどですので地元の要望が反映され易い利点があります。また、寄付金を収めることで、市民の市道への関心が高くなることも見逃がせません。

いろいろな場所で、是非が、取り沙汰される寄付金制度ですが、生活環境の整備を進めていくうえでは、なお当分の間、必要のようです。

道路と市民生活
◀3▶

寄付金には賛否両論
市民の要望は反映され易い

道路整備の中でも舗装に対する要望が一番多いようです。その理由を聞いてみますと「砂利道だと、車が通れば、振動がひどいし、ほこりがたつので、洗濯物が外に干せない」運転者側は「乗り心地が違うし、車の痛みや汚れが違う」

二・三㍍の細い道でも舗装の要望は強く「車もろく

身障者運動会
飛び入りもどうぞ

十月三日、午前十時から市立寄居中学校グラウンド（雨天の場合、同校屋内運動場）で「市身体障害者運動会」が開かれます。

テーマは「スポーツを通してみんなで楽しもう」。

家に閉じこもりがちの身体障害者は、運動不足になりがちですし、人々とのふれあいも少なくなりがち。

そこで、障害者の団体が主体となって、身体障害者の残存機能の回復と、障害者同志の親睦を図ろう―と「身体障害者運動会」を催すことになったものです。

同運動会は、重度の人も軽度の人も、自分の障害を克服し、だれでもが参加できるように、工夫がこらされています。

中には、家族ぐるみの競走も用意してあります。

主催者側では「当日の飛び入りも大歓迎。スポーツの秋！障害を克服し、この日一日、お互いに協力し合い、助け合い、おおいに笑い合って、楽しく過ごしたい」と、当日の飛び入りを呼びかけるとともに、抱負を話っていました。

訂正

市報9月19日号の「ニード情報」の記事で、「連絡先はボランティアビューロー電話22―5518番」―とお知らせしましたが電話番号は29―5518番の誤まりでした。

おわびして訂正します。

南極観測船「ふじ」を一般公開

日時　10月2日・3日・4日
時間　午前9時～11時、午後1時～4時
　　ただし2日は午後2時～4時だけ
場所　中央埠頭
※無料です

「第8回　専門講座」

テーマ　山野草の育て方
日時　10月3日　午後1時半～3時半
会場　園芸センター
定員　50人
申し込み　電話で園芸センターへ
☎86―1034

はかりの検査

会場	期日	対象区域
丸山小学校	9・30	北山、丸山、茗荷谷、西山、直り山、松山、笹山
大淵小学校	10・1	蔵岡、細山、大淵、西野、江口

受付時間　午前9時半から午後3時半まで
※はかりは水平にして使いましょう。

第3回　地域教育懇談会

子供の学力と生活指導を幼・小・中・高校と体系的にとらえ、教育の実態を知り、親の立場で考え、改善への努力をしよう―との共通テーマで下記の日程で開催されます。多くの父母の皆さんの参加を希望しています。

◆10月1日　午後7時～9時
電々会館（流作場）木戸公民館（木戸）大形農協（大形）
◆10月3日　午後1時～同4時
舟江図書館（北部）小張木自治会館（女池）西蓮寺（沼垂）楚川自治会館（曽の木）両川連絡所（濁屋）下場公民館（石山）労働金庫ホール（山の下）福祉会館（松浜）北山公民館（大江山）清徳寺（内野）坂井輪公民館（寺尾）文京町会館（関屋）
◆10月5日　午後5時半～同8時
労働金庫本店ホール

休館のお知らせ

沼垂図書館、山の下関覧所は、蔵書点検のため9月28日から10月5日まで休館いたします。ご了承ください。

救援金募集

日赤市地区（福祉課内）など三団体では、台風17号による被災者を救援するため次のとおり募金を受け付けています。

受け付け場所　市福祉課、地区事務所、連絡所、NHK新潟放送局、共同募金会（東中通1県社会福祉会館内）
期限　9月30日まで